

第3回江東区都市計画マスタープラン 2022 推進会議【会議録】

開催日時	令和4年 11 月21 日(月)午前10時00分		
開催場所	江東区文化センター3階第1, 2研修室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 村木 美貴、市古 太郎、川内 美彦、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 都市整備部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、地域整備課長、 沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
「(仮称)地下鉄8号線沿線まちづくり構想」(素案)について		沿線まちづくり担当	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料2	P2「MaaS の活用」と記載されているが、活用するのは区民等であるため、表現方法の工夫が必要と考える。	行政のみが検討すべき視点ではなく、地域とともに検討すべき視点として記載している。
2	資料2	P2「次世代モビリティ」と P10「次世代交通」の2つの表現が混在しているため、「次世代交通」に統一したほうがよいと考える。 次世代モビリティの観点については、豊洲駅周辺のみでなく、その他駅周辺でも検討すべき観点である。	「次世代モビリティ」は、電動キックボードや自動運転などをイメージしており、「次世代交通」はあらゆる交通手段のひとつとして記載したものであるが、言葉の統一については、検討する。 次世代モビリティの観点については、その他駅周辺でも必要性を検討すべき観点ではあるが、特に豊洲駅周辺においては、ワークショップやアンケートからも次世代モビリティを求める意見が挙がっていたため、地域の特徴として、豊洲駅周辺の目指す姿に記載したものである。
3	資料2	P7「ウォークブル」という言葉は一般的に浸透していない言葉なので、注釈が必要である。	用語集が掲載されていない概要版については、ページ内に注釈を記載する。
4	資料2	P10「エコロジカルネットワーク」の形成について、唐突に記載されている印象を受ける。地区レベルでのエコロジカルネットワーク形成は難しいため、グリーンインフラという表現が適切と考える。	みどり連なるというキーワードから、エコロジカルネットワークの形成を取組の提案として掲げている。表現の変更については検討す

			る。
5	資料2	歩行者と車両の分離やにぎわいと防災の両面で活用できるペDESTリアンデッキなど、グラウンドレベルでの視点のみでなく、立体的な活用について検討し、パースで表現するべきである。	パースについては、場所が特定できないレイアウトに修正中であり、各駅周辺での目指す姿をイメージできる要素を盛り込んで作成をしている。
6	資料2	(仮称)枝川駅周辺では、高度利用が期待できる地域と考えるため、どこまで表現できるか工夫が必要と考える。	高度利用の検討も必要と認識しているが、地域の意見として、高度利用と比較し、やすらぎやにぎわいを求める声が多く挙がっているため、どこまで高度利用を表現できるかを検討する。
7	参考1	各駅の見守り姿を設定するにあたり、アンケート・ワークショップ・その他意見と3つの項目があるが、地域意見の要点をひとつにまとめ、沿線まちづくりの重要な視点である交通課題を記載するべきである。	様々な実施方法による区民意見の把握を示す必要があることから、原案のままとしたうえで、交通に関する記述についても追加する。
8	参考1	アンケート結果等からみどりに対する満足度が高いことが見受けられ、活用していく旨の記載はあるが、新たにつくる視点も必要と考える。そのため、新駅設置や民間開発に伴うオープンスペースの確保について記載が必要と考える。	P3 ではテーマごとの方向性の記載があり、「暮らし・憩い」で快適に過ごせる生活環境や、「水辺・環境」で周辺と調和した空間を方向性の一つとして表現している。また、P10 では、「地域貢献施設」や「オープンスペースの創出」として明示している。
9	参考1	構想には、今後の地区まちづくり方針策定時に後押しとなる記載が必要であるため、P29 に記載のバスの内容については、現状のほかに予測についての記載が必要と考える。	予測について記載することで、構想に深みが出ることは理解しているが、現状予測値等はなく、都バスは東京都の所管であることから現時点で都バスの予測を区が記載することは難しい。
10	参考1	「駅まち空間」の考えとして、新たに設置される駅を中心にその周辺をどのようにしていくかという視点や、新駅へ向かうための二次交通についてどのようにしていくかという検討が不足している。 まちづくりについての記載はあるが、交通関係の記載が少ない。人(歩行者)を中心とした交通体系や再編されるバスネットワークなど次世代交通も含めた概念等を記載	本構想は新駅や既存駅を含めた5駅全体に関するまちづくり構想である。そのため、具体的な交通施策については、各駅周辺のまちづくりを進めていく段階で検討することを想定しているが、交通体系や概念の記載については、ご意見を参考に検

		すべきである。	討する。
--	--	---------	------